

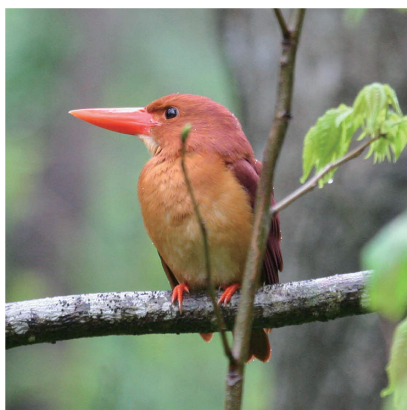
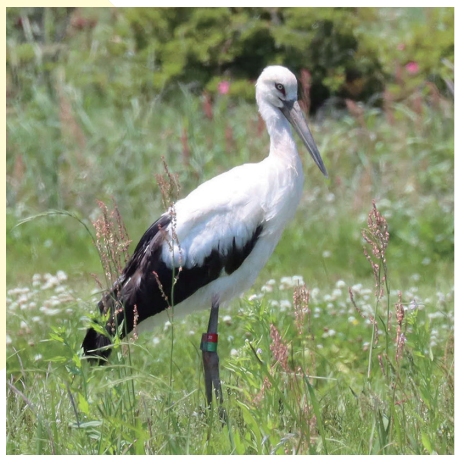
# しまねの自然

Vol.55

令和8年3月

## しまねレッドデータブック改訂！

～大切にしたい野生動植物たち～



【お知らせ】

島根県自然公園協会

施策に対する要望 環境省へ提出

ワッペン制作 ..... 2

【お知らせ】

しまねの自然公園満喫プロジェクト ..... 2

【コラム】

隠岐ユネスコ世界ジオパーク ..... 3

【自然観察会】

市町村自然観察会 ..... 4

【お知らせ】

しまねレッドデータブック改訂 ..... 5

【お知らせ】

三瓶自然館サヒメル 春の企画展 ..... 5

【研修】

島根県自然保護レンジャー研修交流会  
自然観察会はじめての一步研修会 ..... 6

【研修】

自然教育セミナー  
生物多様性自然観察会 ..... 7

【表彰】

表彰受賞者紹介 ..... 8

【お知らせ】

特定外来生物について ..... 8



## 島根県自然公園協会要望活動

～施策に対する要望書が環境省へ提出されました!!～

令和7年10月9日に、梶野会長が堀上自然環境局長に要望書を手渡されました。

「国立公園満喫プロジェクト」のさらなる推進のための所要額確保や離島地域の補助率高上げ、外国人観光客の受け入れ環境整備への積極的な支援などを要望しました。

要望書を受け取られた堀上自然環境局長からは、「満喫プロジェクトは、外国人の観光旅客税の進展などもあり、今後も伸ばしていきたい。国立公園はコンテンツとして非常に訴求効果があると思うので、今後も情報発信、多言語対応を進めていきたい」とコメントを頂きました。

要望書は、島根県選出国会議員等へも手渡ししました。

## 「守ろう！しまねの自然」ワッペン

当協会では、自然保護の啓発を行うためにワッペンを作成し、各市町村を通じて、自然観察会等の各種行事などで参加者に配布しています。

今年度のデザインは、しまねレッドデータブック準絶滅危惧の【モリアオガエル】です。赤褐色な目の虹彩が特徴です。

デザインは今年度も、岡本健一さんにお願しました。



## しまねの自然公園満喫プロジェクト

## 島根県の「自然公園を活用した誘客促進補助金」を活用した自然体験プログラムの取組をご紹介します！

## 浜田海岸県立自然公園

～浜田海岸県立自然公園とキャンプ場を活用した自然体験活動プログラム～

## 実施団体：株式会社 ISP

石見海浜公園のキャンプ場等を活用した「いわみ自然学校」を開催しました。春には親子で参加するファミリーキャンプ教室、夏には小学生高学年を対象とした冒険教室、秋には中学生まで対象を拡げたサバイバル教室と、自然体験活動を通じて子どもたちの生きる力を育みました。



## 中国自然歩道

～中国自然歩道のんびりトレッキング～

## 実施団体：エピオネイチャーガイドオフィス

県内に12コースある中国自然歩道のうちの、吾妻山、美保関・大平山、三瓶山麗コースの3つのモデルコースを利用した自然観察トレッキングを行いました。

ゆっくりじっくり季節の花々や動物を観察しながら、参加者は思い思いに写真を撮るなど自然に親しみ、のんびりトレッキングを楽しみました。



大山隠岐国立公園は  
令和8年2月に国立公園指定  
90周年を迎えました！

自然公園の情報はHPで



# 隠岐ユネスコ世界ジオパーク 3回目の再認定を達成!!



UNESCO（国際連合教育科学文化機関）は、令和7年9月にチリで開催された第11回ユネスコ世界ジオパーク国際会議において、7月の現地審査を踏まえ、隠岐地域を「ユネスコ世界ジオパーク」に再認定しました。隠岐の認定は3回目となります。これにより、世界に認められた大地の魅力を発信し続けることができます。今後も隠岐4島の豊かな自然と独自の文化を守りながら、より多くの方に隠岐を訪れていただけるよう、様々な機関と連携し、地域の活性化に取り組んでいきます。

## ◆現地調査の様子

ジオパークは4年ごとに再認定審査を受けることになっています。今回7月3日～6日にかけて再認定審査のための現地調査が行われました。ハンガリーとスペインから2名の審査員をお迎えし、地域の方々と交流しながら、地域内の資源の保全やジオパークを活用した教育活動など、隠岐4島の多様な取組を見ていただきました。隠岐地域がジオパークとして素晴らしい地であることを改めて評価いただきました。



## 隠岐ユネスコ世界ジオパークの活動紹介

in  
2025

～ 隠岐4島と(一社)隠岐ジオパーク推進機構の活動より～

### 2025年度も開催しました！登山道ワークショップ

10月27日と29日に、隠岐の島町の大満寺山で「登山道整備ワークショップ」を開催しました。また、11月1日には、西ノ島町の主催で「摩天崖歩道整備ワークショップ」が開催されました。



ワークショップでは、隠岐の自然に関心を持つ多様な職業の方々に参加され、自然界の材料を施工に取り入れ生態系を還元させる「近自然工法」という技術を学びました。また、石や丸太を使った階段づくりなど、実際に歩道整備を体験しました。これにより、自然環境に配慮した歩きやすい道になりました。



### 企画展 ジオメガネをかけて歩く海士町 金光寺山編

海士町教育委員会と NPO 隠岐しぜんむらの共催で、企画展「ジオメガネをかけて歩く海士町 金光寺山編」（4月15日～5月18日）が海士町 Entô ジオラウンジで開催されました。

島内外の方々に、海士町の新たな魅力や価値を知っていただききっかけとなりました。



### 知夫村のどっさり祭で「缶バッジづくり体験」

11月8日、知夫村教育委員会主催の「どっさり祭」で、村に生息する生き物（オオミズナギドリ、ハマユウ、ハマボウ、クロシジミ）を題材にした塗り絵や缶バッジづくりを行い、地域の方々に、交流しながら楽しく自然を学んでいただきました。





# 市町村自然観察会



## 奥出雲町

## 水生生物観察交流会

亀高地域に悠々とそびえ立つ玉峰山の源流水も注ぎ込む亀高川で、7月21日仁多地域公民館5館が連携し水生生物観察交流会を実施しました。小学校夏休みスタートの暑い時期でもありましたが、子ども・保護者・地域サポーター・公民館スタッフなど70人の参加があり賑やかな交流活動になりました。

子どもたちは川に大人の人と一緒に入り、川石の裏や水草の中から「こんなの見つかったよ」「これ何だろう」などお互いに声を掛け合い観察していました。知らない生き物に出会った時には、自然観察指導員や周りの大人の人に聞いたりし学びを深めました。そして終わりが近づく頃には友達の輪も広がり、観察した水生生物を協力し合って川に放していました。

時には子どもらしく水遊びもしたりと、大人の見守りの中 時間いっぱい元気よく楽しく活動ができた日となりました。



川石を拾い裏を観察したり、水草の中を観察したりしました。

保護者・地域サポーターなど、多くの大人の見守りの中安心して活動ができました。



観察した後は川に放してやりました。



## 吉賀町

## コウヤマキ自生林観察会

この観察会は、吉賀町の町木であり地域の宝である「コウヤマキ自生林」を多くの方に知っていただくために、毎年8月最終日曜日に吉賀町コウヤマキギャラリー指定管理の会が開催しています。

自生林としてのコウヤマキは山陰地方でも唯一のもので、吉賀町有飯から九郎原地区にかけて48.17haの地域は、昭和52年に島根県自然環境保全地域に指定されています。観察会はこれまでに30回以上開催されており、地元でも歴史ある一大イベントとなりました。

今年度は令和7年8月31日（日）に貴重な癒しの場であるコウヤマキ自生林で約50名の参加者と3名の講師をお招きし、盛大に開催されました。コウヤマキ一面の山の中腹では、参加者は立ち並ぶコウヤマキに驚きの声を上げ、講師の説明に耳を傾け、コウヤマキに頬を寄せたり、コウヤマキの落ち葉がふわふわした山道に寝転んだり、足元の稚樹の群生には何度も「保育園みたい！」と感嘆し、明るく楽しげな笑い声が響いていました。なにより町内在住で初めて観察会に参加された方が多かったことはとても嬉しいことです。

また毎年講師にお迎えしている島根県樹木医の佐藤仁志先生は、このコウヤマキ自生林が自然環境保全地域に指定された時から、今も半世紀にわたりご尽力いただいています。山を歩き続け大切にされている様子の伝わる解説が毎回楽しく分かりやすいと大好評です。

古くは弘法大師のいわれのある吉賀町の神秘の森「コウヤマキ自生林」に足を運んでみてはいかがでしょうか。



# しまねレッドデータブックが デジタルブックとして生まれ変わりました

## ■しまねレッドデータブックとは

しまねレッドデータブックは、島根県内の希少な野生動物や絶滅のおそれがある種をまとめた重要な資料です。これまで概ね10年ごとに改訂され、県内における自然環境の現状をわかりやすく伝えるとともに、個体や生息地などの保護・保全活動に結びつく情報を幅広く提供しています。

## ■大幅改訂のポイント

今回の改訂は12年ぶりの大幅改訂となり、従来の紙媒体から「デジタルブック」として生まれ変わりました。

### ・紙媒体からデジタルへ移行

いつでもどこでもスマートフォンやパソコンで手軽に閲覧可能になりました。

### ・掲載種数が944種から1235種へ大幅増加

新たな調査結果等を取り入れ、最新の絶滅危惧種情報を反映しました。

### ・使いやすい検索機能を搭載

目次にある種名等をクリックすることで目的の情報に素早いアクセスが可能です。

### ・写真や生態情報を豊富に掲載

視覚的にわかりやすく、生物の特徴や生息・生育環境を詳しく紹介しています。

## ■デジタルブックで広がる可能性

デジタルブック化により、地域の皆さまが場所や時間を問わずアクセスできるようになりました。これまでの紙の冊子よりも情報量が増え、鮮明な写真で確認することができるので、環境保全活動や教育現場でより実用的で親しみやすいツールとしてご活用いただけます。

## ■しまねレッドデータブックへのアクセス方法

- ・QRコードの読み取り（本機関紙やリーフレットなど）
- ・インターネット上で“しまねレッドデータブック”と検索



しまね  
レッドデータブック

しまねレッドデータブック

検索



## 三瓶自然館 春の企画展

# 救え！消えゆく生きものたち2026

～しまねレッドデータブック 山野の生きもの編～

開催期間 2026年(令和8年) 3月14日(土)～5月24日(日)

自然豊かな島根県にも絶滅の危機がせまっている生きものたちがいます。

そんな生きものたちは、山や森の中だけではなく、私たちの身近なところにもたくさんいるのです。

12年ぶりに改訂された「しまねレッドデータブック2026」では、掲載種が大幅に増加しました。

この企画展では、しまねレッドデータブックに掲載されているたくさんの生きものたちの標本などを展示するとともに、保全のための取組も紹介します。



料金：大人700円、小中高生200円、幼児無料



サヒメル HP



# 島根県自然保護レンジャー 研修交流会を開催しました!!

令和7年10月26日(日)三瓶山北の原、三瓶自然館サヒメルを会場に自然保護レンジャー研修交流会を開催しました。

レンジャーの任期は2年であり、令和8年度から新しい任期となるため、今年度のレンジャー研修交流会は、現任のレンジャーに加え、レンジャー活動に興味を持っておられる方にも参加いただきました。

前半は「ネイチャークラフト班」「自然観察班」「登山班」の3つの班に分かれて行いました。各班の講師を経験豊富なレンジャーにお願いし、「レンジャー自身が作り上げる研修」となりました。

「ネイチャークラフト班」は、三瓶山北の原に出かけ、松ぼっくりなどのクラフト素材を探しました。その後、それらを使って、作品づくりを行いました。

「自然観察班」は、三瓶山北の原に出かけ、講師の解説を聞きながら、自然観察を行いました。

「登山班」は、講師から、目を向けると良い場所や咲いている植物等の解説をしてもらいながら、男三瓶山の頂上を目指して登山を行いました。



後半は三瓶自然館サヒメル 安藤研究員から「危険生物に出会った時の対処法」というテーマで、クマに遭遇時やマダニに刺された場合の対応方法等について教えていただきました。

研修会に参加されたレンジャーからは「子どもも大人も楽しめるクラフト活動は良かった」「秋を感じながら森の中を歩くことができ、癒しになった」「山歩きのコツを知ることができ、色々な植物や花の話が面白かった」などの感想をいただきました。

今後も、研修で得た知識や情報をレンジャー活動に活かせるような実践的な研修会を開催していきたいと思えます。



## 自然観察会はじめての一步研修会 @ 三瓶青少年交流の家

令和7年6月28日(土)・29日(日)の2日間で「自然観察会はじめての一步研修会」を開催しました。

研修会では、令和6年6月に開催した NACS-J 自然観察指導員講習会を経て、自然観察指導員※となった方や、野外指導者として活動したいが、きっかけがつかめない方などのフォローアップを行い、自然観察会の立ち上げの「一步」を支援しました。

1日目は、講義で実践のコツを学んだり、実際に一步を踏み出した方の体験談を伺いました。2日目は、チームに分かれて、内容検討やポスター作成をした上で、ミニ自然観察会を実施しました。各チームが座学と野外活動を通して、和気あいあいとアイデアを出し合



う充実した時間となりました。

参加者からは、「他のチームのミニ観察会の様子を見ることで、自分の観察会の参考になった」「研修会で仲間ができたことが、実際に自然観察会を開催するきっかけとなった」等の感想をいただきました。

引き続き、自然の魅力を伝える人材の育成に力を入れていきたいと思えます。

※自然観察指導員…地域に根ざした自然観察会を通じて自然の価値を伝え、守る活動につなげるボランティアリーダーのこと。



# 自然教育セミナー ～親子で楽しむ自然体験～

スマートフォンやデジタル機器の普及に伴い、子どもたちの自然離れが懸念されているため、毎年、親子で自然を楽しみながら学べる「自然教育セミナー」を開催しています。



今年度は7月26日(土)・27日(日)に三瓶山北の原キャンプ場(大山隠岐国立公園)、11月1日(土)に月山・太鼓壇公園(清水月山県立自然公園)を舞台に実施しました。

セミナーでは、焚き火や山城登山に加え、ネイチャーゲームで五感を使いながら自然を楽しむ機会を提供しました。参加者たちが目を輝かせて自然と向き合う様子が印象的でした。

また、楽しむだけでなく、自然と触れ合う際の安全面やマナーについても伝えました。参加者からは「普段はスマホを手放せない子どもが、自然の中で目を輝かせて遊ぶ姿に感動した。私自身も安全に気を付けながら自然と関わる大切さを学んだ」との感想をいただきました。

皆さんも自然と親しむ第一歩を、一緒に踏み出してみませんか。



## やうねやま 生物多样性自然観察会 弥叡山ブナ林における自然観察会



令和7年11月16日(日)、弥叡の自然と環境をまもる会が主催(島根県自然観察指導員連絡協議会が共催)となり、自然観察会を行いました。

同会は毎年、春と秋は山の自然観察会、夏には川の自然観察会を行っています。

今回は秋の深まる弥叡山で、ブナ林の自然を感じながら、自然観察指導員の案内により、動植物や森の説明を受けました。

参加者は大人班と子ども班に分かれ、自然観察路の各地点に設置されたクイズに挑戦しました。参加者同士、意見交換をしながら答えを導き出しました。クイズの中には、「朽ちかけている木は今後、どうなっていくでしょう」といった設問もあり、自然循環について考えるきっかけが生まれました。

また、ビタミン豊富な「ガマズミ」の赤い実を食べたり、「ミズメ」の樹皮の香りを嗅いでみたり、「トチノキの冬芽」に触ったりと、五感で自然を感じることができました。

動植物などの説明を受けながら山を登っていくと、「森の女王」と呼ばれる雄大で美しいブナ林が姿を現しました。参加者たちは、このブナ林を目前に自然の壮大さを改めて感じ、豊かな自然を残していくために自分たちができることは何かを考える機会となりました。

幼い頃からこの自然観察会に参加している子どもたちが、これからもこの弥叡の豊かな自然を大切に思い、守り続けてくれることを願っています。

皆さんも弥叡の山を訪れ、豊かな自然とのふれあいを体験してみませんか。





# 令和7年度 自然保護関係表彰受賞者一覧 (自然環境課)



## 環境保全功労者に対する知事感謝状

松江市 野津 貴章 さん

長年、島根県自然保護レンジャーとして島根半島東部地区ほか、自然公園等のパトロール活動において、登山道など公園施設の状況の確認を行い、その状況を県に報告するなど、自然環境保全に貢献されている。

また、島根県希少野生動植物保護巡視員として、自然保護活動に尽力されている。



松江市 平田 忠男 さん

長年、島根県自然保護レンジャーとして宍道湖北山県立自然公園ほか、中国自然歩道において、定期的なパトロールを実施し、倒木処理を行うなど自然保護活動に尽力されている。

また、トイレの点検や清掃活動を実施し、快適な利用のための環境整備を行うなど自然環境保全に貢献されている。



## 自然公園指導員表彰(自然環境局長)

海士町 深谷 治 さん

大山隠岐国立公園隠岐地区を中心に年間を通じて活動し、利用者に対するマナー指導を行うほか、登山道や遊歩道、施設の損傷等に関する情報を管理者へ提供し、自然公園の適正な管理に貢献されている。

また、未就学児に対して自然体験会の講師を務めるなど自然環境保護思想の普及啓発に尽力されている。



## 「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰

松江市 村松 通宏 さん

長年、自然公園・自然歩道等において、事故防止のための巡視、清掃活動、自然環境保全活動を行うなど自然環境保護思想の普及啓発に尽力されている。



## 特定外来生物について

# 「外来種被害予防三原則」を知っていますか？

もともとその地域にいなかったのに、人間の活動によってほかの地域から入ってきた生物である**“外来種”**。中でも、海外起源の外来種であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものから**“特定外来生物”**が指定されています。

外来種による被害を未然に防ぐために、**「外来種被害予防三原則」**を守りましょう。

**入れない**

悪影響を及ぼすおそれのある外来種を自然分布域から非分布域へ**「入れない」**

**捨てない**

飼養・栽培している外来種を適切に管理し**「捨てない」**  
(逃がさない・放さない・逸出させないことを含む)

**拡げない**

既に野外にいる外来種を他地域に**「拡げない」**  
(増やさないことを含む)



例① セアカゴケグモ



写真提供：香川県

例② ナガエツルノゲイトウ



写真提供：環境省

## ◀ 特定外来生物の例

環境省 HP で「日本の外来種対策」をまとめているので、ご覧ください。



環境省 外来生物 検索